

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	医療法人社団真成会			
所在地	東京都練馬区豊玉北一丁目 12 番 1 号 1 階			
業種	(P) 医療・福祉			
常用労働者数	54 人			
事業内容	本社は、診療所を経営し、科学的でかつ適正な医療を普及することを目的とし、次の診療所を開設する。 (1) 医療法人社団 真成会 江古田のぐち医院 本社は、診療所を経営するほか、次の業務を行う。 (1) 医療法人社団 真成会 新江古田訪問看護ステーションの経営 (2) 介護保険法に規定する事業の運営 ①介護センターひまわり ②新江古田ヘルパーステーション ③デイサービスひまわり ④福祉用具ひまわり			
ホームページ	http://www.shinseikai-cc.jp/himawari/index.html			
1 ニーズ調査				
① 実施日	令和 7 年 11 月 12 日～11 月 21 日			
②方法	調査票を都内に勤務する全職員に配布			
③回収率	対象者（都内勤務全従業員） 55 名のうち回収数 55 名 回収率 100%（回収数／対象者）			
④調査結果概要	(調査により明らかになった課題) ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護をした経験があると回答した職員のうち、 42% が現在も介護をしていると回答した。 ・今後の従業員の介護見込みについて 今後 5 年 間のうちに介護をする可能性があるという回答が 65% あった。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 内容を理解していると回答した職員が 15% しかおらず、残りの 85% の職員には周知が十分に行き届いていないことが判明した。制度周知の場を設ける必要がある。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 「将来の見通しを立てにくい」「どのような状態になるか予想がつかない」「代替要員がおらず、仕事を休めない」という不安が特に多く見られた。そのため、制度周知や相談体制の整備に加え、代替が可能な業務体制づくりが求められる。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 「支援制度を利用しつつ、介護と仕事を両立する」という回答が半数を占めた。柔軟な働き方と支援体制の整備が求められる。			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
① 設置日	令和 8 年 11 月 26 日			
②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名） （メンバー内訳）理事、都内勤務従業員 1 名			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	11 月 26 日	14：00～15：00	活動内容及びスケジュールの確認	2 名
	11 月 27 日	14：00～15：00	調査結果概要説明、取組案の提示	2 名
	11 月 28 日	14：00～15：00	取組案について意見交換、確定	2 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				

令和 8 年 4 月～ 介護と仕事を両立しやすい職場風土づくりのため、介護との両立に関する研修と社内制度 周知を年 1 回実施する。
4 経営者・管理職への体験型研修の実施
有り・無し (いずれかに○)